

2020 年9月5日 土曜日

読者の皆さん

幸せな9月！

今年、2020 年は、次から次への難題、次から次への不測の事態をもたらし、悲しみと喪失感に直面しなければなりませんでした。私たちは自分たちの核心となる価値観に焦点を当て続けなければなりません。シッダ・ヨーガの道において、私たちの核心となる価値観の一つは、内なる幸せを手放さず、それを表現することです。私たちはこれを、自分自身を向上させるため、私たちの人生の中にいる人々を高めるために行い、そして私たちは、自分たちの幸せは世界へ浸透していくという意図を保持します。ですから私は今一度皆さんに、幸せな9月を！と願います。

パンデミックのニュースが2020年3月に初めて世界的注目のピークに達し、多くの国の政府が人々の行動に制限を設けた時、私たちがシッダ・ヨーガの道で幸せを体験した方法の一つは、「**テンプルの中にいなさい**」のサツァングに参加することによってでした。3月21日に始まり、その後何カ月も続いてきたこれらのサツァングは、グルマリーから私たち全員への贈り物です。

ご存じの通り、グルからの贈り物はプラサードと呼ばれています。シッダ・ヨーガの生徒は、グルからのプラサードは永遠であることを理解し、体験するようになりました。その貴重さは比類がありません。その力——グル・プラサードの力——は計り知れません。

インドの教典は、弟子がグルから受け取るあらゆるものはプラサードであると言明しています。教典は、いかにグルの祝福がプラサードであるかを説明しています。グルから受け取る知識は

プラサードです。グルの恩恵はプラサードです。「シュリー・グル・ギーター」の第 110 節で、シヴァ神はグル・プラサードについてのこの教えを与えています。

guroḥ kṛpā-prasādena

ātmārāmaṁ nirīkṣayet ।

anena gurumārgeṇa

svātmajñānaṁ pravartate ॥

人はグルの恩恵の贈り物を通して、内なる大いなる自己を認識すべきである。グルのこの道によって、その人の大いなる自己の知識が生じる。

今年行われてきた 36 回の「テンプルの中にいなさい」のサツァングのマネジングディレクターとしてグルマリーに仕えたことは、私にとって最高の栄誉であり恩恵でした。36 という数字を見ると、カシミール・シャイヴィズムの教典の中で解説されている 36 のタットヴァを思い出します。これらの教典は、いかに至高なる神は絶対なる者であると同時に、この全創造物を構成するすべてであるかを列挙しています。言い換えると、これらのタットヴァの知識は、私たちの存在そのものすべての側面に光を当て——そして、私たちは本質において、いかに神聖であるかを明らかにしているのです。これは、「テンプルの中にいなさい」のサツァングの完璧な例えだと思いませんか？ サツァングが次々と、全部で 36 回行われた中で、私たちは自分自身の内なる存在を探究し、生来の神性を発見してきました。

「テンプルの中にいなさい」のサツァングで生み出されたシャクティのすべての分子は、人生で正しい行動を取るようあなたを力づけ、動機を与え、鼓舞し、活気づけ、魂を吹き込み、勇気づけ、エネルギーを与えてきたことに、私は全く疑いを持ちません。

サツァングで私たちが受け取った知識、実践したシッダ・ヨーガの修行、味わった静寂、受け止めた幸福は、いかなる弱さの感覚も不屈の精神に、脱力感を活気に、挫折を自信に、恐怖を勇気に変えました。

さて、皆さんに二つの点についてお伝えします。一つ目は、感謝の言葉です。二つ目は、シッダ・ヨーガの道のウェブサイトにて、皆さんが参加するよう招待されている、今後のライブ動画配信についての幾つかのお知らせです。

まず初めに、感謝の言葉です。それが1回のサツァングであろうと多数回であろうと、「テンプルの中にいなさい」のサツァングに参加してくださった皆さん、ありがとうございました。あなたが体験するつもりであったものを受け取ったということは、ご自分が知っていますね。皆さん、ありがとうございました。

ロコミで、「テンプルの中にいなさい」のサツァングに参加するよう、あなた自身の温かい招待状を皆さんに送ることでセーヴァーをささげた人々、ありがとうございました。あなたたちは、瞬時に私たち皆をつなぐ善意の絆を作りました。ありがとうございました！

そして、私に連絡をして、「奉仕したい」、「奉仕したい」、「奉仕したい」と伝えてくれた皆さん、ありがとうございました。そのような連絡をあなたからもらう時はいつも、私は自分が、適切な場所に、適切な時に、適切な人というのを知りました。本当にたくさんの愛を皆さんから感じました。毎年、グルマリーが「バースデー・ブリス(誕生日の至福)」の月の間に与える美德を、私はあなたから直接に体験することができました。あなたとの連絡を通して、それらの美德は鮮やかに生き生きとしてきました。もちろん、あなたの「テンプルの中にいなさい」のサツァングでのその後の貢献については、参加した皆さんに喜ばれ、大切にされました。

毎回のサツァングを実際に制作するセーヴァーをささげてくれた SYDA ファウンデーションの皆さんにも、感謝の意を表します——ここ、シュリー・ムクターナンダ・アーシュラムで奉仕してしようと、世界中のあなたの家からであろうとです。あなたのチームメンバーとしての心意気、あなたの技能、あなたの創造性は、限界を知りませんでした。私が担った「テンプルの中にいなさい」のサツァングのマネジグディレクターとしてのセーヴァーの役割において、そのように支援してくれるチームを持つことができ、私はこの上なく幸運でした。

私は多くの皆さんから、あなたの家で、あなたの家族が——正確な意味においてはシッダ・ヨーギではない人々でさえも——「テンプルの中にいなさい」のサツァングに参加することにより、技術的な準備をしたり、あなたがシッダ・ヨーガのサーダナーに取り組めるように周囲の美しい環境を整えたりして、セーヴァーをささげてセーヴァイトとなったと聞きました。あなたの家は最も美しいサツァングのホールに変わりました。その一つ一つが、特別で独特の、シッダ・ヨーガ・ユニバーサル・ホールの一角となったのです。ありがとうございます。そして、あなたの愛する人々にも、このセーヴァーをささげてくれてありがとうございます。

では、幾つかの新しい情報をお伝えします。

あなたは、イーシャ・サーデサイが『「テンプルの中にいなさい」について』の中で、シッダ・ヨーガ・ユニバーサル・ホールでのライブ動画配信によるこれらのサツァングは人々の精神を再び高揚させるため、というグルマーイの意図を共有したことを覚えているかもしれません。そして、まさしくその通りのことが起こりました。それは確かに、私たち皆が体験したことだったのです。

「テンプルの中にいなさい」のサツァングの意図は実を結んだので、間もなくあなたは、シッダ・ヨーガ・ユニバーサル・ホールで行なわれるライブ動画配信の今後の学習とサツァングへの招待状を受け取るということをお伝えしたいと思います。この招待状は、それらのイベントの

マネジングディレクターとなるスワミ・アカンダーナンダからです。スワミ・ジは、あなたが参加するのに必要な情報をお伝えします。

同時に、私は「 templeの中にいなさい」のサツツァングのマネジングディレクターとしての役割を終えることとなります。私は、SYDA ファウンデーションでの他の役割で、これまで以上の喜びと献身をもってセーヴァーをささげ続けますので、どうぞご安心ください。😊

SYDA ファウンデーションが開催する近日中にやって来るライブ動画配信についての詳細情報に注目しててください！

この手紙を核心となる価値観の一つ——幸せ！——と共に始めましたので、結びにおいても、このレフ・トルストイによる啓発を与える言葉で、幸せに戻りたいと思います。

「幸せになりたいのなら、なりなさい」

心を込めて

マネジングディレクター、「 templeの中にいなさい」

ローヒニー・メノン

